

平成30年度巡回訪問報告

- 1 期 日 平成31年(2019年) 2月28日(木)
- 2 時 間 午後1時00分～午後3時15分
- 3 場 所 天草市立河浦図書館
- 4 参加者 天草市立河浦図書館・牛深図書館・中央図書館の職員(12名)
- 5 訪問者 情報支援課 指導主事・1係司書・2係司書・児童係司書(4名)
- 6 訪問(研修等)の概要

(1) 訪問の趣旨説明および訪問者紹介(指導主事 5分)

新しい進め方で行う初めての巡回訪問であることや今回の事例を各種研修会等で紹介し県内各地での実践につなげたいことなどについて説明したあと、講師を務める3人の所属・名前・担当する研修等を紹介しました。

(2) 研修Ⅰ「著作権について」(2係司書 55分)

事前に提出された著作権に関する質問事項に対する回答を、資料を基に実例等を交えながら説明しました。当初は40分の予定でしたが、著作権についての疑問や実際の活動の中で困ったこと、迷ったことなどについての質問が多く出され、予定の時間を大きく超過しました。

(3) 研修Ⅱ「オンライン・レファレンスツール(※1)について」(1係司書 25分)

資料を基に、調べる対象や調べたい内容に応じて実際に利用している効果的なオンライン・レファレンスツールを紹介するとともに、具体的な活用例や利用する際の留意点等を説明しました。また、実際のレファレンスにおけるオンライン・レファレンスツールの位置付けや活用力向上のための反復利用の必要性等について説明しました。

(4) 研修Ⅲ「パスファインダー(※2)の作り方」(児童係司書 30分)

資料及び当館のパスファインダーを基に、パスファインダーの定義や作成の目的、作成することによって得られる副次的な効果等のほか、実際のパスファインダーに必要な内容や作成作業の具体的な進め方等について説明しました。また、当館の現状を踏まえた課題を示すとともに、作成・導入したことによって実際に感じられるパスファインダーのメリットなどについて説明しました。

(5) 説明・質疑応答・アンケート記入等(指導主事 20分)

市町村立図書館等を対象に昨年度実施した、当館の地域支援関連のアンケート調査の際、天草市立河浦図書館の職員から寄せられた以下の意見(要望)について、当館としての対応等を説明しました。

- ・学校の教員を対象とした調べ学習に関する研修を実施してほしい。

→郡市の教科等の研究会、特に教員の学校図書館への関心や利用意欲を高めるためには国語部会などの教員が多く集まる部会に、当館の指導主事を講師として呼んでいただきたい。

- ・県内の図書館職員の意見交換の場として以前使われていたサイボウズ・ライブ(※3)を復活させてほしい。

→サイボウズ・ライブはもうすぐなくなる。当館では、昨年度のシステム更新に伴うホームページリニューアルの際、県内公共図書館等間の情報交換等のための掲示板やお知らせコーナーを作った。今後、今回の研修の資料をそれらに掲載して閲覧を勧めるなどすることで、周知と利用の拡大を図っていききたい。ぜひ、天草郡内の図書館等での利用拡大に協力してほしい。

その後、内容を限定しない質疑応答の時間を取ったあと、配布したアンケート用紙への記入を依頼し、最後に、訪問受入への謝辞等を述べて会を閉じました。

7 アンケート結果の概要

アンケート調査における、今回の訪問全体についての評価と理由及び気づきや感想等は以下のとおりでした。(各研修についての評価と感想や意見等及び当館への意見や要望等については省略 ・回答数11)

- (1) 今回の訪問は全体的に見て受入館や参加者にとって効果的であったか、とその理由

○そう思う(9)

- ・日々業務をこなしていくだけではなく、こうして研修を受けることで、仕事へのとり組みを見直すきっかけになりそうです。
- ・このような機会がないと、勉強会がありません。大変、勉強になりました。
- ・普段じっくり考えない(考える時間がなく)内容まで触れることができました。質問コーナーがあったので、普段の業務で疑問に思うことを聞ける良い機会だと思いました。
- ・特に著作権については、こちらでも判断が難しいと感じる場面が出ていたので、質問に答えていただいたことなど、今後活かせると思っています。
- ・勉強ができます。
- ・こちらの質問に答えて下さりありがとうございました。受け身でなく、こちら側が能動的になる講座が良かったと思います。定期的に行って下さればうれしいです。
- ・もっとたくさんの人に聞いてほしい内容ばかりだった。著作権は難しい。です…
- ・普段なかなか顔を合わせる事のない県立の方と訪問を通して顔見知りになる事ができ、司書以外の職員にとっても良かったと思う。県立が身近になった。
- ・天草市から県立図書館の研修に参加する、となると、遠く、時間も一日がかりとなるので、参加する職員が一部になってしまいます。県立図書館から出向いていただけると、普段研修に行けない職員も参加でき、大変有意義だと思います。

○まあそう思う（２）

- ・研修時間及び参加数はこの位の人数でよいと思う。
- ・テーマが多すぎたと思います。すみません。つめこみすぎました。

（２）今回の訪問に対する気づきや意見、今後の訪問に関する意見や要望

○今回の訪問に対する気づきや意見

- ・市内各館からの意見をまとめて答えていただく場を設けていただけて良かったです。
- ・いいお話ばかりだったと思いますが、音量と話すスピードをもうちょっと考えていただければなあ、と思いました。何しろ高齢なので。
- ・２時間で３テーマは少しかけ足だと思いました。
- ・時間がもうちょっと余裕があったらよかったな…。遠方だから難しいかな。
- ・あまり形式ばらず、気軽に参加できる雰囲気なのでよかった。業務の一環なので、非常勤さんも参加しやすかった。
- ・訪問研修は全国の県立でもそんなにはないのではないかと思います。鹿児島とか聞いたことがあります…。遠方（講義時間より長い移動）図書館としてありがたいです。

○今後の訪問に関する意見や要望

- ・なかなか、全部の図書館を回るのはすごく難しいと思いますが、良い例・悪い例の図書館（名なし）を紹介していただければいいなあと思います。県内全体の図書館がよくなれば…
- ・今後もコンスタントに訪問していただければありがたいです。
- ・このような研修は今後も続けてほしい。

8 感想等

今回の訪問を通じて、新しい形式での巡回訪問の有効性が確認できたので、今後もこのような形での訪問を継続的に行っていくことが重要と考えます。今後、県内各地を定期的に回っていくためのシステムを、早めに構築していきたいと思います。

《用語解説》

※1：オンライン・レファレンスツール

インターネットで利用できる、個々のレファレンスに対する回答などを行う際に使用する資料のこと。レファレンスとは、何らかの資料や情報を求めている利用者の質問や相談に対して、図書館職員が図書館の資料やネットワークを活用して、回答となる情報を提供したり、回答の含まれる情報源を指示・提供すること。

※2：パスファインダー

特定のテーマに関する各種の資料や情報の探索方法などを紹介・提供する、図書館の利用者教育のツール。平成29年度(2017年度)末現在、当館では計24種類のパスファインダーを作成し、1階子ども図書室でリーフレットとして提供するほか、ホームページでも公開している。

※3：サイボウズ・ライブ

サイボウズ株式会社が提供しているウェブアプリケーションベースの無料グループウェアサービスで、県内公共図書館でグループを作り利用していた。平成31年4月に同サービスの提供が終了されることになっている。